



# 校長室だより

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年2月28日

第38号

26日(水)は午前中の「6年生を送る会」、午後の「玉椿ミーティング」と大忙しの日でした。保護者の皆様に大勢参観していただきました。ありがとうございました。学校HPもご覧ください。

## つばきッス 時には「タンポポの花」のように～「6年生を送る会」から～

送る会が終わり、ある方が「送る会、素晴らしくて本当に楽しかったですよ。一人一人の『伝えたい・表現したい』という気持ちがよく伝わりました」と話しかけてられました。「これまでいろいろな取組を通して、どの子ども自信をもって自分を表現できるようにと育ててこられた1年間の集大成でしょう」と、ところどころ強調しながら褒めていただき、大変嬉しく思いました。



ここでふと私が連想したのは「タンポポ」です。つばきなのにタンポポ？ いえいえ、タンポポは小さな花びらに見える一片が実は一つの花なのだとか。それが一つにまとまって丸い花となります。一人一人が大切な花。みんなでまとめた花も素敵な一輪の花。この日のつばきッスは、まさにタンポポの花のように元気に輝いていました。

## つばきッスは3つのKに向かって進む「玉椿の花」！～「玉椿ミーティング」から～

午後の「玉椿ミーティング」は今年度初めて行いました。事前の案内を見て「いったいどんな取組？」と思われた方も多かったかと思いますが、それでも10名余りの方が参観され、「送る会」とはまた違った全校児童の様子を間近で見ていただきました。詳細は学校だより『済美』をお読みください。

こうした取組に挑戦できるのも、本校に50年以上続く「玉椿の3つのK」の伝統があるからだと感謝します。「助け合う子・よく考える子・元気でやりぬく子」が言葉だけに終わらず、子供の行動や具体的な姿と結びついて実現していけるよう、子供たち自身の思いや願いを生かしながら進んでいきます。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ( )



## 6年生との会食 今年はランチルームで

この時期、本校では毎年6年生と校長との会食を行っているとなりました。個人的にはこれまでの5年間経験がなく、初めてのことです。例年は校長室で行っているとのことでしたが、校長室が「いつでもどうぞ」の部屋になっている今年度は、校長室の特別感も薄いのでは…？ また、応接ソファでは食べにくいのと、ランチルームから隔離され、放送が聞けないのもちょっと困るかな、ということで、ランチルームでの会食とさせていただきます。短い時間ながら、小学校での思い出や今後の希望等々を話題に給食をいただいています。

これまで6年生が最高学年として委員会活動や集会、運動会等の行事に取り組んでいた姿、また毎朝の登校の様子、計算大会や短歌づくりを通して垣間見たそれぞれの得意・不得意、頑張り、興味・関心の方向、家族や家庭の事情など、校長としてできる範囲で一人一人のことを理解できるよう努めてきました。どの子も卒業の不安と中学校進学への期待とが入り交じりながら、その子なりに前向きに毎日過ごしている様子が健気です。そんな6年生との会食は気恥ずかしくもありますが、何とも楽しい時間です。



### シリーズ「教室におじゃまします」2月25日(火)6年「総合的な学習の時間」の巻

このところ6年教室前の黒板には、カウントダウン・カレンダーが掲示してあります。この日は「卒業まであと15日」「今日にはここにこの日！」※25日「ずっとニコニコでいよう！」と書いてありました。



総合的な学習の時間も、卒業を控えたこの時期は「自分の成長を見つめよう」として、お世話になった人への感謝を伝えたり、自分にできることを実行したりすることに取り組んでいます。この日は、在校生への感謝の思いを込めてのプレゼント作りを行っていました。各教室の黒板掲示に使えるような **重要** **ポイント** 等のマグネットカード

や、個人で使えるしおりです。よく見るとPCで作成したものから手書きのイラストまで、バラエティに富んでいます。紙で作ったものを専用のシートに並べて挟み、まとめてラミネート加工をします。その後、ばらばらに切り離し、マグネットシールを貼り付けたり、しおりらしく仕上げたりします。

一人で落ち着いて作業をする子もいれば、なんとなくみんなで固まってワチャワチャする集団もいて、この時間そのものが仲間との楽しい思い出作りになっているのかな、と感じました。在校生にプレゼントを渡すのが楽しみです。3月に入ると、いよいよ卒業式練習が始まります。



<おまけのひとりごと> 「送る会」の5年生の出し物は『令和の始まり物語』。確かに今の6年生は令和の始まりとともに小学校生活の6年間を送ってきたのだなあと改めて思いました。劇の中にはもちろん私の知らないエピソードも多々ありましたが、新型コロナで大変な時期を過ごしたり、東京オリンピックやWBCがあったりと、会場の皆が「そうだったよね～」と共感できることがベースになっていて楽しかったです。6年生のみんな、卒業に向けて毎日を楽しんでね！ 余談ながら、終わりの言葉でも少し話したのですが、私の校長生活も令和元年度から始まっています。卒業する6年生の成長に負けないように、私も進化を続けなくちゃ！

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ( )